

町の進めるひと・くらし・しごと創生推進事業に対し、施設警備、交通誘導警備等の安全をキーワードとした各種サービスを展開されている大同警備保障有限会社様（本社：米子市）から「企業版ふるさと納税」として寄付をいただきました。

贈呈式が6月26日に行われ、大同警備保障有限会社の船田代表取締役社長は、「子どもは地元の宝だと思っております。鳥取県の刑法犯の件数が近年増加しております。子どもたちがいつ犯罪に巻き込まれるかわからない、あるいは交通事故もいつ巻き込まれるかわからないという状況が続いていると思います。この寄付が町の子どもの安全のために利用されることをぜひお願いしたいと思います。」と話されました。

寄付金は、学校・保育所（園）・地域の安全教育の指導助言や、子ども見守り隊による登下校の見守り活動を行う事業の関連物品等の購入等により、子どもの安全を推進する事業に活用させていただきます。



（写真：左から船田代表取締役社長、竹口町長）